

# リ満月 ム ゼの

カムイだって、仲間なんだ。





## あらすじ

### 満月のリムセ

～月明かりにつながるやさしさを知った～

天地が創造された頃から、アイヌにとってこの世界はウレシバモシリ(育て合う大地)であった。つまり、アイヌ(人)も動植物もカムイ(神)も万物は育て合い、調和し、手を取り合うものだった。ある日、好奇心旺盛で少しやんちゃなキタキツネのカムイは「イレンカ」と名乗り、いつものように地上の世界(アイヌモシリ)へ旅に出た。四季の変化に彩られ、アイヌたちは自然の糧に恵まれて暮らしている。今宵はアイヌたちの踊り比べ。イレンカも踊りに興味津々。アイヌたちはイレンカを優しく招き入れ、時を忘れるような踊りが繰り広げられた。踊ることだけが楽しいのではない。命の躍動が、つながり合うことが、幸せなのだ。ウレシバモシリの心を確かめたイレンカは、後ろ髪をひかれつつもカムイモシリへと帰っていく。空に浮かんだ大きな満月にアイヌたちはキタキツネのカムイをみとめ、オンカミ(感謝)するのであった。



## 演目について

この演目は、アイヌの人々がアイデンティティとして持つ多様性を受け入れる受容性や大切な思想でもあるウレシバモシリ、つまりお互いに育て合う大地等をテーマに取り入れ、制作チームと阿寒湖アイヌシアター<イコロ>の踊り手が話し合いを重ねながら沢山の想いを込めつくられた作品です。カムイを身近に感じお互いに敬い合えるアイヌの人々、目に見えない存在を身近に感じ歌い踊り続け感謝を捧げてきたアイヌの人々。今回は、天上と地上を何度も行き来しているキタキツネのカムイ「イレンカ」と踊り手が優しさ溢れるアイヌの世界へと誘います。今日の始まりにオンカミを、今日の終わりにオンカミを

舞台監督/脚本/演出 藤間 信乃輔

## 舞台映像について

物語は、アイヌ神話から始まります。その神秘的な世界観を伝えるべく、またテーマである「ウレシバモシリ」の優しい世界を表現するために、「満月のリムセ」の舞台映像はアニメーションで描いています。テイストはできるだけデジタルな印象を抑え、直線より曲線を多用し、全体に手書きのトーンを加えています。この作品の柔らかなテーマを、舞台序盤はアニメーションで感じていただく。物語が進むにつれて踊り手の舞踊と重なっていき、ラストは踊りと映像と音楽が一つになって、見る人の心を揺さぶる壮大なクライマックスとなります。アイヌ文様やアイヌコタンの描写など、随所に描かれたアイヌ文化も見どころです。

映像ディレクター 鈴木 陵生

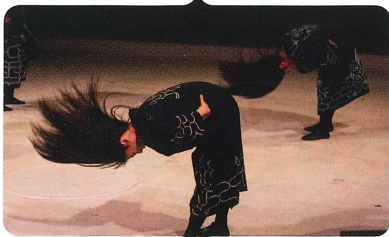
## 音楽について

そよ風、凍ったり流れたり波になったりする湖、森の奥から聞こえてくるいきもの声や木々のささやき。阿寒湖や湖畔の森はかくも壮大な音舞台そのものです。宝探しをするかのような気持ちで美しい四季の響きを一つずつ歩いて集めました。さらに、トンコリ・ムックリ・イオンカ・レブニなど阿寒湖アイヌコタンの皆さんが演奏するアイヌ伝統楽器を「伝統・創造くオンネチセ」で収録。この尊い音たちをピアノの糸で繋げ、ウボボとそっと結びました。劇中に散りばめた阿寒湖畔の音、そして明治生まれでアイヌ語を母国語に育ったアイヌユーカラ伝承者・四宅ヤエさんの歌声も合わせてお楽しみ下さい。

音楽 川上 ミネ

## 舞踊リスト

- ムックリ……………口琴
- ロホンナ……………棒遊びの踊り
- シチョチョイ……………豊年の踊り
- ヘクリサラリ……………お盆の取合いの踊り
- フッタレチュイ……………黒髪の踊り
- クリムセ……………弓の舞
- ヘレカンホー……………水鳥の踊り
- エッサホーホー……………踊り比べ



## スタッフ

- 出演……………阿寒湖アイヌシアター<イコロ>  
アイヌ舞踊踊り手  
現代舞踊ダンサー
- 監修……………秋辺 デボ
- 脚本……………澁江 俊一
- 舞台監督/脚本/演出…藤間 信乃輔
- 音楽……………川上 ミネ
- ナレーション・アドバイザー…宇梶 剛士
- 映像ディレクター……………鈴木 陵生
- アニメーションディレクター…水井 翔
- サウンドデザイナー……………清川 進也
- 伝統衣装・道具製作……………阿寒湖アイヌコタンの皆さま
- スタイリスト(現代舞踊)……星野 笑子
- 現代舞踊演出……………山本 樹生
- 制作統括……………森尾 俊昭

公演時間・  
料金など  
詳しくはこちら



「満月のリムセ」の動画はこちら

予告ムービー



制作  
ドキュメンタリー・  
インタビュー



お問い合わせ

TEL:0154-67-2727  
釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84  
阿寒湖アイヌシアター<イコロ>